

小学1年生に向けた「ちがい」をテーマにした読み聞かせ
オリジナル絵本『にじいろのかけら～みんなのすてきなところ』で
思いやりと自己肯定感を育む授業を実施します

第8期坂井市まちづくりカレッジ修了生による市民活動です

令和8年2月13日

このほど、小学1年生を対象にした、市民グループによる読み聞かせの授業が実施されます。

オリジナル絵本『にじいろのかけら～みんなのすてきなところ』の読み聞かせを通じて、「自分と相手のちがいを認め合うこと」「一人ひとりにすてきなところがあること」を、やさしい言葉で子どもたちに伝えます。

読み聞かせを行うのは、坂井市が主催する「まちづくりカレッジ」第8期(昨年度)の修了生同士でつくる市民活動グループ「さとり」。カレッジ修了時に発表したアクションプランを、今年度、市民活動として実践するものです。

絵本は、「さとり」作・絵で、坂井市市民活動応援助成事業を活用して制作しています。

地域の子どもたちが「ちがい」を前向きに受け止め、自分や友だちを大切に思う気づきとなる取り組みとして、ぜひご取材いただけると嬉しいです。

記

■ 読み聞かせ

【日時・場所】

令和8年2月20日(金)13:20～

大石小学校 1年生(32名)

【所要時間】 約20分

■ 当日の流れ(予定)

1. あいさつ
2. 絵本の読み聞かせ(約10分)
3. お話を聞いた感想(約5分)
4. 記念撮影
5. お礼のあいさつ



※終了後、子どもたちへのインタビューも可能です

●絵本『にじいろのかけら～みんなのすてきなところ』について

「さとり」が独自に登場人物の設定や物語を考え、絵を施した絵本で、坂井市内の風景や場所が随所に登場します。市民活動応援成事業(協働提案コース)の採択を受け、80冊を制作。今月中に、各小中学校、図書館など市内の教育施設に1冊ずつ設置予定です。

●「さとり」について

坂井市が主催する「まちづくりカレッジ」の第8期生同士で結成した市民活動グループ。

第8期の学びを通して、地域社会に潜む“無意識の差別や偏見”の存在を認識。それを取り除くことで誰もが幸せに暮らせる地域社会の実現を目指そうと、いろんな気づきを促す物語を“やさしい日本語”で綴る絵本づくりに取り組んでいます。

グループ名にも「差を取る」＝「さとり」という世界観を込めています。

《関連・注目情報》

●まちづくりカレッジ

・第9期最終講義＋学習成果発表会：

令和8年2月22日(日) 9:30～ たかむく古城ホール

・地域の中で直面する5つのテーマごとに、幸せが実感できるまちづくりと『自分軸』を重ね合わせて考えたアクションプランを、今期受講生が発表します。

・現在、会場での受講申し込みを受け付け中です。

詳しくは、令和8年2月3日付け報道発表をご覧ください。

●市民活動応援成事業

・令和7年度の成果報告会：

令和8年3月7日(土) 13:30～ 坂井市役所 3F 大ホール

「さとり」をはじめ、今年度協働提案コースの採択を受けた5団体が、活動成果を報告します。

・令和8年度の募集開始：

令和8年2月12日(木)～

従来の枠組みをリニューアル。学生枠や、まちづくりカレッジ受講生枠などが新たに加わり、市民活動がさらにチャレンジしやすくなります。

募集に関する詳細は、追ってホームページ等に掲載しますので、こちらもぜひご注目ください。

問い合わせ先：

坂井市市民協働課 吉田・中出 (TEL 50-3017)